

第28回 東京都がん対策推進協議会・第6回がん計画推進部会 事前に提出いただいたご意見

No	資料	項目	意見	東京都コメント
1	資料4 (進捗状況評価)	【指標達成状況】取組2-3 (肺がん検診精密検査受診率)	特定健診の機会を肺がん検診に活用したこと、即ち、情報提供だけではなく環境整備が受診率向上に大きく貢献することが明白になったかと思うが、他のがんに対しても同様な環境整備を模索すべきではないだろうか。実施主体の違いを克服することは可能であることの実例と捉えたい。一方で、要精密検査者の精検率が低下するという皮肉な結果をもたらしたが、保険者と自治体の連携の工夫が求められるであろう。	御意見を承りました。がん検診の精度管理向上に向けて取り組みを検討してまいります。
2	資料4 (進捗状況評価)	【指標達成状況】全般	「各指標の達成状況」で数値目標を設定しているものには、その数値に向けて取り組みが進められているように資料からも見受けられる。また経年での評価が市民として理解しやすいものと思う。	次期計画における指標について検討する際、参考とさせていただきます
3	資料4 (進捗状況評価)	【事業実績】課題1 (がん予防の取組の推進)	「受動喫煙の機会」は、資料4ではD評価とは言え、別添資料では、条例の施行という環境整備による減少効果は明らかになっていると思う。 一方で、生活習慣改善などについては、情報提供だけでは根本的な改善に結びつき難いので、生活習慣を改善しやすい環境づくりの推進(商店でたばこを奥の方にしまうなどで買いにくいようにする、健康的な食品・料理を選択しやすいように表示や陳列を工夫する、ジムの会費を一部負担するなどで身体活動をしやすいようにするなど)の環境整備)に関する施策への取組が、今後は必要ではないかと思う。現状は、情報提供に偏り過ぎていて、一部の健康関心層にしかな普及しない。	生活習慣改善に関する指標を設定している都の健康増進計画「東京都健康推進プラン21(第二次)」は、今年度から最終評価を実施し、来年度には次期計画を策定する予定です。委員の御意見も踏まえながら、今後の施策について検討してまいります。
4	資料4 (進捗状況評価)	【事業実績】取組1・取組2 (予防・検診に関する普及啓発)	「(取組1-1)科学的根拠に基づき、がんのリスクを下げるための生活習慣に関する普及啓発の推進」の令和3年度実績で、ポータルサイト該当ページの閲覧数及びパンフレット配布数ほどの程度あるのか、寄与・効果を検討できる数値を記載してはどうか？ 同様に「(取組2-2)がん検診受診に関する普及啓発の推進」の令和3年度実績で子宮頸がん検診受診率目標50%に対して39.8%から48.0%に増加しているの、ポータルサイト「TOKYO#女子けんこう部」の閲覧数など、寄与・効果を検討できる数値を記載してはどうか？	ご意見を承りました。次回の進捗状況評価に向けて検討いたします。
5	資料4 (進捗状況評価)	【事業実績】取組4・取組6・取組7 (がんとの共生に関する普及啓発)	「(取組4-4)緩和ケアに関する普及啓発」「(取組6-2)働きながら治療を受けるがん患者への支援の充実」「(取組7)がんの地域共生社会の構築」で令和2年度と令和3年度とがんポータルサイトのトップページ閲覧数を掲載しているが、該当ページの閲覧数を掲載してはどうか？該当ページにアクセスしていなければ、がんポータルサイトの意義を説明できないのではないかと？	ご意見を承りました。次回の進捗状況評価に向けて検討いたします。

第28回 東京都がん対策推進協議会・第6回がん計画推進部会 事前に提出いただいたご意見

No	資料	項目	意見	東京都コメント
6	資料7-2 患者・家族調査 (患者票)	No.39 (相談支援センターの利用経験)	がん相談支援センターの利用経験を問う設問については、「本病院以外の別の病院の相談支援センターを利用した」という選択肢を加えてはどうか	ご意見を踏まえ、反映いたします。
7	資料7-2 患者・家族調査 (患者票)	No.45(2) (相談支援センターでの相談内容)	がん相談支援センターでの相談希望内容としては、出産、妊娠(妊孕性)、また、子育てや介護との両立 などあっても良いかもしれない	ご意見を踏まえ、検討いたします。
8	資料7-2 患者・家族調査 (患者票)	No.48 (患者サロンを利用しない理由)	選択肢に「同じ部位の人がいなかった」といった項目を追加すべきではないか?	ご意見を踏まえ、反映いたします。
9	資料7-2 患者・家族調査 (患者票)	No.49 (患者サロンを利用しない理由)	患者サロンを利用しない理由として、「ステージが異なると悩みの種類が違うように思ったから」という理由を聞くことがある	ご意見を踏まえ、反映いたします。
10	資料7-2 患者・家族調査 (患者票)	No.52 (ピアサポートの利用意向)	患者サロンとの違いは何かわかりにくいように思う。罹患者がピアサポートを目的に集まったら「患者サロン？」	ご意見を踏まえ、反映いたします。
11	資料7-2 患者・家族調査 (患者票)	No.55 (ピアサポートでの相談希望内容)	No.45(2)に対するコメントと同様	ご意見を踏まえ、検討いたします。
12	資料7-2 患者・家族調査 (患者票)	No.54 (その他の相談先)	選択肢に「がん患者を支援する・サポートしている団体」とあるが、がんポータルサイトでは「がんと向き合う・相談する」との項目で「患者団体・支援団体の情報」と整理されている。同様に患者団体と支援団体を区別するべきか?もしくは記載を統一するべきではないか?	ご意見を踏まえ、反映いたします。

第28回 東京都がん対策推進協議会・第6回がん計画推進部会 事前に提出いただいたご意見

No	資料	項目	意見	東京都コメント
13	資料7-2 患者・家族調査 (患者票)	No59(1) (新規就労の困りごと)	選択肢6については、「がんを罹患したことで就職活動で伝えるべきか」などとしてはどうか (AYA世代の悩みで聞くことがあります)	ご意見を踏まえ、反映いたします。
14	資料7-2 患者・家族調査 (患者票)	No.59(3) (就労に係る相談先)	就労および就職継続に関する不安を相談した相手方として、「罹患したことがある知人」という選択肢を入れてはどうか(選択肢4「患者団体・支援団体」よりももっと身近な存在として)	ご意見を踏まえ、反映いたします。
15	資料7-2 患者・家族調査 (患者票)	No.68 (がん罹患に関する職場への報告)	「法人」という表現は「会社」とした方が回答者にとってわかりやすいように思われる	ご意見を踏まえ、反映いたします。
16	資料7-2 患者・家族調査 (患者票)	No.71 (企業における制度)	企業における制度の整備状況を問うものとして、「週3勤務制・週4勤務制」を追加しても良いように思われる	ご意見を踏まえ、反映いたします。
17	資料7-2 患者・家族調査 (患者票)	No.75 (企業における配慮)	企業における両立支援のための配慮を問うものとして、「役職の変更(責任が少ないポジションへの変更)」や「勤務時間の変更(時短勤務、週●勤務など)」を入れてはどうか	ご意見を踏まえ、反映いたします。
18	資料8-2 患者・家族調査 (家族票)	No.34 (その他の相談先)	選択肢に「がん患者を支援する・サポートしている団体」とあるが、がんポータルサイトでは「がん」と向き合う・相談する」との項目で「患者団体・支援団体の情報」と整理されている。同様に患者団体と支援団体を区別するべきか?もしくは記載を統一するべきではないか?	ご意見を踏まえ、反映いたします。

第28回 東京都がん対策推進協議会・第6回がん計画推進部会 事前に提出いただいたご意見

No	資料	項目	意見	東京都コメント
19	資料10-2 都民意識調査	No.6(追加) (仕事と治療の両立を難しいと考える理由)	「治療に専念すべきだと思っから」という選択肢もあっても良いと思われる。一般的なイメージで「両立できない」と思っている人も多いように思う。	ご意見を踏まえ、検討いたします。
20	資料10-2 都民意識調査	No.13 (検診のデメリット)	「がん予防・検診等実態調査」を別途実施するとのことであるが、現状の設問にないが、がん検診の最大のデメリットである過剰診断(寿命前に、症状や死をもたらすことのないがんの診断)についても、知識を確実に普及して行くことが重要である。 都民のみならず、検診実施主体の過剰診断に対する理解の不足が、自治体などで実際に行われている推奨されていないがん検診の横行、受診下限年齢の引き下げ、受診間隔の短縮など、誤ったサービスをもたらしている。	ご意見を承りました。がん予防・検診等実態調査を実施する際の参考とさせていただきます。